令和元年度版

大分市

Oita City Flood Hazard Map

大分市洪水 どこが危ない？ ハザードマップ

大分川／祓川／住吉川

1 保存版

このハザードマップは、市内を流れる主要河川が氾濫した場合に想定される被害予測、浸水範囲や避難方法などの情報を記載したものです。
正確な情報を入手して早めの避難を心がけてください。

わが家の防災メモ

必ず記入しておきましょう

		名　前（家族・親戚・知人）	緊急時の連絡先（会社・学校・携帯電話）	生年月日 / 血液型
避難先				
家族の集合場所				

自分の住んでいるまちを知ろう！

海と山にはさまれた大分市

大分市は、北に別府湾と東に豊後水道など海を有し、内陸では北西の鶴見岳から高崎山に連なる高崎山大起伏火山地、南部に大野山地や東部の佐賀関山地に囲まれた台地や丘陵の多い平野部が広がっています。

台風の通り道なの？

気候は瀬戸内海式気候で、年間を通して温暖な地域ですが、夏から秋にかけて台風の通り道になることが多い。台風は南から北上し、大分県の東側を通過すると大雨になることが多く、豪雨の影響で大量の雨水が主要河川に流れこみ、流域ではこれまで幾度となく洪水をくり返し、大きな水害をもたらしてきました。

台風 96個

1981～2010までの30年間に九州北部に上陸または接近した台風
（大分市地域防災計画より）

2つの大きな川が育んだ…

海と山の間には比較的緩やかな市内平野部が広がり、山岳部を源流とし、市内へ流れる主要河川が、豊かな自然と地域における文化・産業を育んできました。

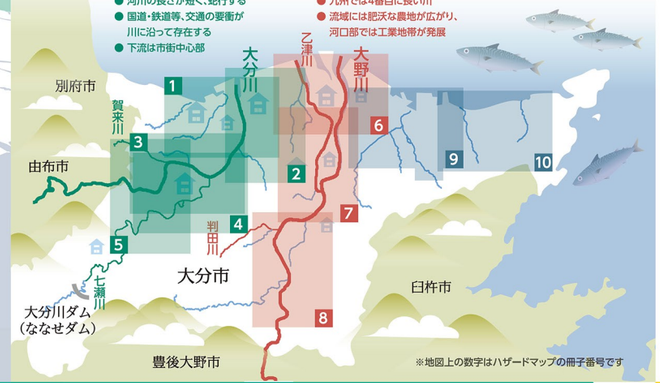
市内を流れる川は他にもいっぱいあるよ

大分川 一級河川　全長：55km

- 賀来川・七瀬川を支川に持つ
- 河川の長さが短く、蛇行する
- 国道・鉄道等、交通の要衝が川に沿って存在する
- 下流は市街中心部

大野川 一級河川　全長：107km

- 判田川などを支川に持ち、下流で乙津川に分岐
- 九州では4番目に長い川
- 流域には肥沃な農地が広がり、河口部では工業地帯が発展



※地図上の数字はハザードマップの冊子番号です

九州北部をおそった災害のつめあと

⚠ 平成29年7月九州北部豪雨による災害

平成29年7月5日からの梅雨前線による大雨によって、九州北部を中心に記録的な大雨にみまわれ、福岡県と大分県では河川の氾濫や土砂災害による甚大な被害が発生しました。24時間の最大雨量は、福岡県朝倉市で545.5mm、大分県日田市で370.0mmとなるなど、九州北部地方では350mmをこえる記録的な大雨となりました。

大分県内の被害

土砂災害発生箇所		45箇所
人的被害	死者	3人
住家被害	全壊棟数	48棟
	半壊棟数	269棟

※住家被害は水害での被害も含む
出典：大分県「平成29年7月豪雨災害による被害等について」

写真：平成29年7月九州北部豪雨による福岡県／大分県の河川氾濫・土砂災害被災状況（株式会社パスコ）

災害への心がまえ

大雨により想定される災害は？

大分市で、人命や家屋などの財産、農産物などに大きな影響をおよぼす災害としては、集中豪雨や台風などによる「洪水」や「土砂災害」が想定されます。2つの一級河川が流れる広大な平野では市街地化も進んでおり、特に浸水に対する注意が必要です。また、上流域の雨が時間をかけて下流へ流れてくるため、水位が急上昇する可能性もあり、注意が必要です。

洪水　土砂災害

集中豪雨や台風などによる「大雨」で想定される災害

山沿いでの土砂災害、また、小河川や水路から氾濫したり（内水氾濫）、河川やため池の堤防の決壊による洪水の発生が予測されます。

ハザードマップを確認しよう！

うら面のハザードマップを見て、自分や大切な人の居場所の安全度を確認しておきましょう！

大分市では、洪水のほかに、土砂災害、津波・地震、ため池ハザードマップを作成済みです。
http://www.city.oita.oita.jp/kurashi/anshinanzen/kikikanri/kanrenmap/hazardmap/index.html

「わが家の防災マニュアル」
http://www.city.oita.oita.jp/o009/kurashi/volunteer/1366191989138.html

防災情報をリアルに可視化!
スマートフォン専用防災ツール「おおいた洪水ハザードアプリ」サービス開始。
災害シミュレーション結果とGPS機能を連動させ、スマートフォン内臓カメラで撮影された実写の映像に、現在地の防災情報を合成・表示することができるアプリです。
くわしくは、ウェブサイトをご覧ください。

備えておこう

情報の入手先（パソコン、携帯サイト）

大分市ホームページ	パソコン	https://www.city.oita.oita.jp/		
大分県ホームページ	パソコン	https://www.pref.oita.jp		
	携帯サイト	http://mobile.pref.oita.jp/		
おおいた防災ポータル	パソコン	https://www.pref.oita.jp/site/bosaiportal/		
国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	パソコン	http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/		
	携帯サイト	http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/m/		
大分地方気象台	パソコン	https://www.jma-net.go.jp/oita/		
大分県 雨量・水位観測情報	パソコン	http://river.pref.oita.jp		
	携帯サイト	http://river.pref.oita.jp/mobile/		
国土交通省 川の防災情報 雨量・水位や河川の予警報、ダム情報など	パソコン	https://www.river.go.jp/		
	スマートフォン	https://www.river.go.jp/s/	スマートフォン	
	携帯サイト	http://i.river.go.jp/p/xmn0101010/		携帯サイト
川の水位情報（危機管理型水位計）	パソコン・スマートフォン	https://k.river.go.jp/		
大分県 土砂災害情報 インターネット提供システム	パソコン	http://sabo.pref.oita.jp/dosya/index.html		

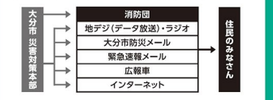
非常持出品の準備

避難した際に当面必要となる最小限の物です。
これらに加え、自分にとって必要な物をリュックなどに入れます。
玄関の近くや寝室などに置いておきましょう。

□懐中電灯　できれば一人一つずつ。予備の電池
□携帯ラジオ　AM/FM 両方聞けるもの
□非常食・水
缶詰や乾パンなど火を通さずに食べれるもの。水はペットボトル入りが便利
□貴重品
多少の現金・預貯金通帳、印鑑、身分証明書、公衆電話利用に 10 円玉も
□救急医薬品
傷薬、絆創膏、解熱剤、かぜ薬などのほか、常備薬あればお薬手帳
□その他
生理用品、防犯ブザー、運動靴、雨具、筆記用具、使い捨てカイロ、マスク、ヘルメット、下着類、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュなど

避難情報の伝達方法

様々な手段で、住民のみなさんに避難情報を伝達します。



大分市防災メール 登録制

大分市に関する防災情報をメールでお届けします。
登録方法は2種類
① 右のQRコードを読みとり、登録する
② 右のメールアドレスに空メールを送る
その後返信されるメールにて登録する

entry@b-oita.jp

地域の防災訓練に参加しよう！
万が一のときに備えて、お互いに助け合い、励まし合う自主防災組織を作り、育てていきましょう。

困ったときの対応・連絡先

大分市総務部 防災局 防災危機管理課 097-537-5664
※災害警戒（対策）本部が設置されたときは 097-534-6111

地域の消防・警察	大分中央消防署 097-532-2108	大分東消防署 097-527-2721	大分南消防署 097-586-1230	
	大分中央警察署 097-533-2131	大分東警察署 097-527-2131	大分南警察署 097-542-2131	

逃げ遅れた	あわてず２階以上に移動する → 消防 119 に電話する → 救助を待つ
自力で避難できない	市役所・支所・自治会長・自主防災組織・民生児童委員・近所の人・消防団に支援を要請する
大けがをした	応急処置をする → 消防 119 に電話する → 救助を待つ
停電になった	九州電力 大分営業所 0120-986-504に電話する

消防（災害・救急）119
警察（事件・事故）110
災害用伝言ダイヤル171
災害用伝言板 Web171
https://www.web171.jp
インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板です。

どこが危ない!
大分市洪水ハザードマップ
作成：令和元年7月 大分市 土木建築部 河川・みなと振興課 TEL 097-537-5632（直通）FAX 097-532-7545（直通）

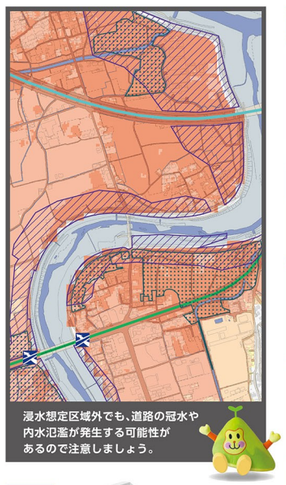
準備編

1 ハザードマップを見る

浸水の深さを知って、状況に応じた避難を考えよう

あなたの居場所の浸水は何m？

うら面のマップは洪水が起きたときの被害予測地図（ハザードマップ）です。自分や大切な人たちがいる居場所に想定される浸水の深さを確認！



アンダーパス
交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地盤よりも低くなっている道路のことです。地形的に雨水が集中しやすい構造のため、大雨・洪水時に自動車で侵入すると危険です。

家屋倒壊等氾濫想定区域

河川沿いは要注意！
堤防が削られる（河岸侵食）または、水深・流速（氾濫流）により建物の倒壊が想定される区域

予測される浸水の深さ

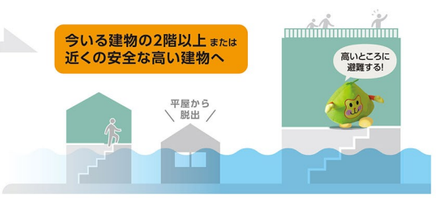
10m以上	2階屋根以上が浸水	
5m以上		
3~5m	2階屋根まで浸水	
0.5~3m	2階床下まで浸水	膝上を越えると歩行は危険！ 車が浮く流される
0.5m未満	1階床下まで浸水	大人の膝下くらい 車から避出！

必ずすぐに避難

緊急避難場所・高台の道路・空地など
浸水しない安全な場所へ

時間と安全な避難経路が確保されていれば…
外が明るいうちに必ず避難

今いる建物の2階以上 または **近くの安全な高い建物へ**



すでに外が危険な場合

あわてず、その場にとどまり安全確保

すでに外が危険な場合

わが家の防災メモ

必ず記入しておきましょう

		名　前（家族・親戚・知人）	緊急時の連絡先（会社・学校・携帯電話）	生年月日 / 血液型
避難先				
家族の集合場所				

どこにどうやって避難する？

浸水の深さに応じて事前に避難先を決めておくことが大切です。表紙のページにある記入項目を家族で話し合って書き込みましょう。

※浸水想定区域外への避難が基本

避難編

3 避難を判断する

危険を感じる雨が降ってきた！緊急避難に備えよう

安全に避難するためのタイミングは？

緊急避難のタイミングは様々な情報から判断しましょう。気象情報に注意し、市からの避難情報や周囲の人の呼びかけがあったら、速やかに避難しましょう。

⚠ 避難を判断するための防災情報が新しく5段階の警戒レベルで発信されます。

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
警戒レベル 5	災害の発生	命を守る最善の行動
警戒レベル 4	避難勧告、避難指示（緊急）	すみやかに全員避難
警戒レベル 3	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者らは避難
警戒レベル 2	注意報	避難場所や経路を再確認
警戒レベル 1	警報級の可能性	最新の気象情報などに注意

危険を感じたらすぐ避難しよう

大分市からの避難情報

警戒レベル3 避難準備をして下さい。避難に時間のかかる方は、早めに避難を開始して下さい

警戒レベル4 すみやかに全員避難を開始して下さい

警戒レベル5 災害が発生した!! ただちに命を守る行動をとって下さい

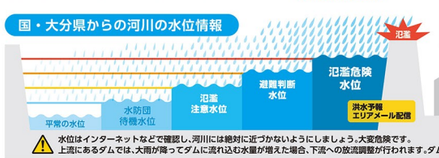
気象庁からの気象情報　今いる地域を流れる河川の上流の状況にも注意しよう

大雨注意報 洪水注意報
災害が起こるおそれ
大雨による河川の増水、道路の冠水、家の床下まで浸水するおそれ。最新の気象・避難情報に注意！

大雨警報 洪水警報
重大な災害が起こるおそれ
河川の更なる増水による氾濫、道路の冠水、家の床上まで浸水するおそれ。危険な状況。

⚠ 大雨特別警報
大災害への最大級の警戒
数十年に一度の大雨が予想され、洪水・土砂など大災害発生のおそれが極めて高い状況。

国・大分県からの河川の水位情報



⚠ 水位はインターネットなどで確認し、河川には絶対に近づかないようにしましょう。大変危険です。
上流にあるダムでは、大雨が降ってダムに流れ込む水量が増えた場合、下流への放流調整が行われます。ダムの洪水調節情報にもご注意ください。

ポンプ場の運転調整を知っていますか?

大雨などで河川の水位が上昇し、堤防の決壊のおそれがある場合に、河川の負担を減らすため、排水ポンプの運転を停止するルールとなっています。排水ポンプを止める場合は、浸水被害が発生しますので、避難情報を発令します。

津留雨水排水ポンプ場

4 安全に避難する

安全な避難先へ緊急避難しよう

避難の流れと心得を知ろう！

避難情報を確認し、安全に避難しましょう。避難前に火元を必ず確認！自宅の安全が確認できれば在宅避難に努めましょう。

避難の判断 → 事前に決めた避難先へ → 避難する → 警報・注意報の解除 → 危険はなくなった… → 家に被害あり 生活できない → 避難生活 / 家に被害なし → 自宅に戻る

安全に避難して、被害を最小限に抑えよう

避難の心得

安全な避難経路の確認を！
- 事前に確認しておく
- 河川やがけの近くを通らない

非常持出品の事前準備を！
- 定期的に中身を確認

正確な情報収集と自主的な避難を！
- 大分市防災メールに登録しよう

避難する前に！
- 電気・ガスの火元の確認
- 親戚や知人に避難することを連絡

ただちに避難を！
- 避難勧告
- 避難指示（緊急）
- 危険を感じたら

動きやすい服装 2人以上で避難を！
- リュックサック
- 長袖、長ズボン
- スニーカー

車での避難は控え、徒歩で避難を！
- 交通渋滞
- 浸水による故障
- 緊急車両の妨げ

災害時に支援を必要とする人に協力を！
- 障がいのある人
- 高齢者
- 乳幼児

避難時の注意事項

20～30cm 程度の水位でも立っていられなくなり、足をとられてしまいます。

海岸や河川からはできるだけ遠ざかるように避難。

夜間で視界が悪く、屋外へ出ると危険な場合、その場にとどまり安全確保。

500m（平地）歩くのにかかる時間の目安
約 6 分 男性
約 8 分 女性
約10分 高齢者

避難所まで歩くのにかかる時間を計測しよう